

**令和3年度進行管理・評価シート**  
**弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）**  
（最終変更令和3年3月31日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 趣のある風景情報発信事業	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 弘前城本丸石垣整備事業	.....	3
2 鷹揚公園整備事業	.....	4
3 景観重要建造物保存・改修費助成事業	.....	5
4 趣のある建物情報発信事業	.....	6
5 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	.....	7
6 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	.....	9
7 追手門広場改修事業	.....	10
8 松並木保存管理事業	.....	11
9 津軽塗後継者育成研修事業	.....	13
10 津軽塗技術保存伝承事業	.....	14
11 弘前市民俗文化財用具修理事業	.....	15
12 レッツウォークお山参詣開催	.....	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	.....	17
2 保存・活用を行うための施設の設置、	.....	19
3 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	.....	20
4 保存・活用の普及と啓発	.....	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 仲町武家屋敷 発信へ	.....	22
2 感染予防 静かな向山		
3 津軽塗職人の道へ一歩		
4 元旦参拝でヤーヤドー 300年盛り上げ		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 景観ブースの開催	.....	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	24

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

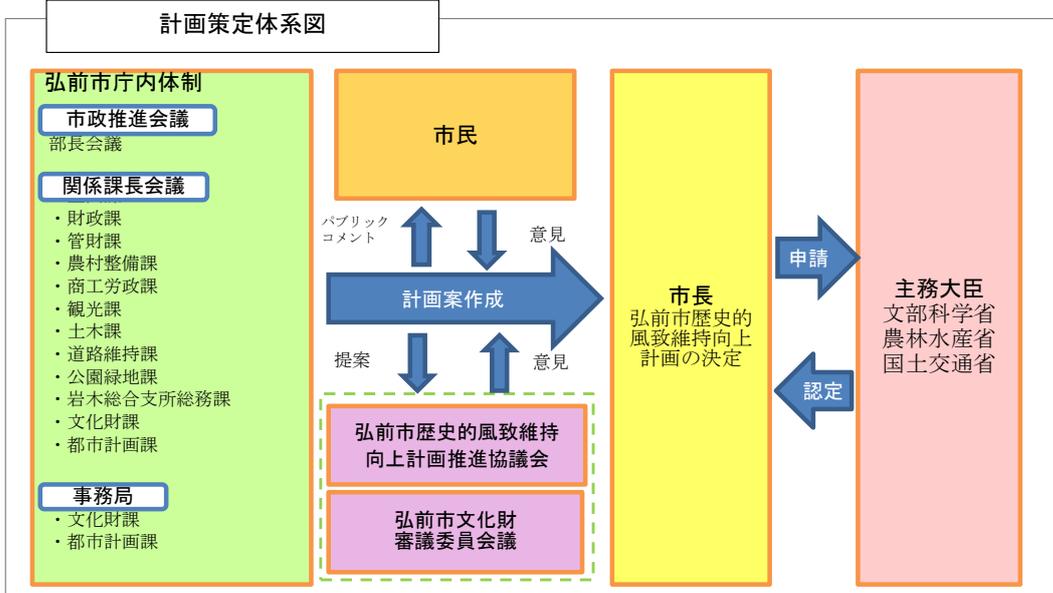
計画に記載している内容 必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等について、報告、意見の聴取等を実施することで計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 書面開催 令和4年2月22日(火)
- (2) 案件 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について  
令和3年度 進行管理・評価シートについて

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
趣のある風景情報発信事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約10,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【弘前市立観光館での設置状況】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 重要文化財である弘前城天守が載る本丸東面と南面の石垣の崩落の危険性が高いため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。また、石垣の修理に伴い、天守の一時的な曳屋が必要となるため、この機に保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、石垣東面(北側)積直し工事(石垣復旧面積 A=448.5㎡)の2か年目であり、石垣を5段積上げた。工事では、暗渠を埋設するために、近世盛土を掘削する必要があることから発掘調査を実施した。なお、石垣積直しの方針や発掘調査の内容等については、昨年度に引き続き、石垣修理現場アドバイザーによる現地指導や弘前城跡本丸石垣修理委員会等を開催して指導を得ている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査・測量など各専門分野の有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

【委員会等の開催日時及び会議内容】  
 ○弘前城跡本丸石垣修理委員会  
 第1回 令和3年7月29日 石垣積直し工事I工区端部の擦り付けについて、丁張確認について、今後の事業スケジュールについて、天守台天端の積直し形状と高さについて、天守耐震補強等について  
 第2回 令和3年11月22日 石垣積直し状況について、史跡及び重要文化財天守現状変更について等  
 第3回 令和4年3月29日 重要文化財天守現状変更内容の報告について、石垣積直し工事進捗状況について等  
 ○石垣修理現場指導アドバイザー  
 今年度:2回実施(6月29日、7月16日)  
 【石垣東面(北側)積直し工事概要】  
 ・工事期間:令和2年9月26日～令和5年3月20日  
 ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、井戸遺構復旧工、排水石積遺構復旧工、湧水箇所排水対策工、仮設工  
 【積直し工事に伴う発掘調査に関する実施概要】  
 ・調査期間:令和3年8月～12月  
 ・調査内容:石垣の排水処理機能を高める暗渠を埋設する工事では、近世盛土を掘削することから、発掘調査を実施した。結果、元禄期以前の盛土で滑り面を確認したため、弘前城跡本丸石垣修理委員会の指導を受け、調査範囲を拡張した。その結果、盛土は築城時あるいは築城後の早い段階で既に崩落しており、埋没石垣は盛土崩落より時間を空けて17世紀中頃～寛文年間(1661-1673)に構築されたと推定される。

【第1回石垣修理委員会 現地説明状況】



【第2回石垣修理委員会 開催状況】



【石垣積直し工事状況】



【発掘調査状況】



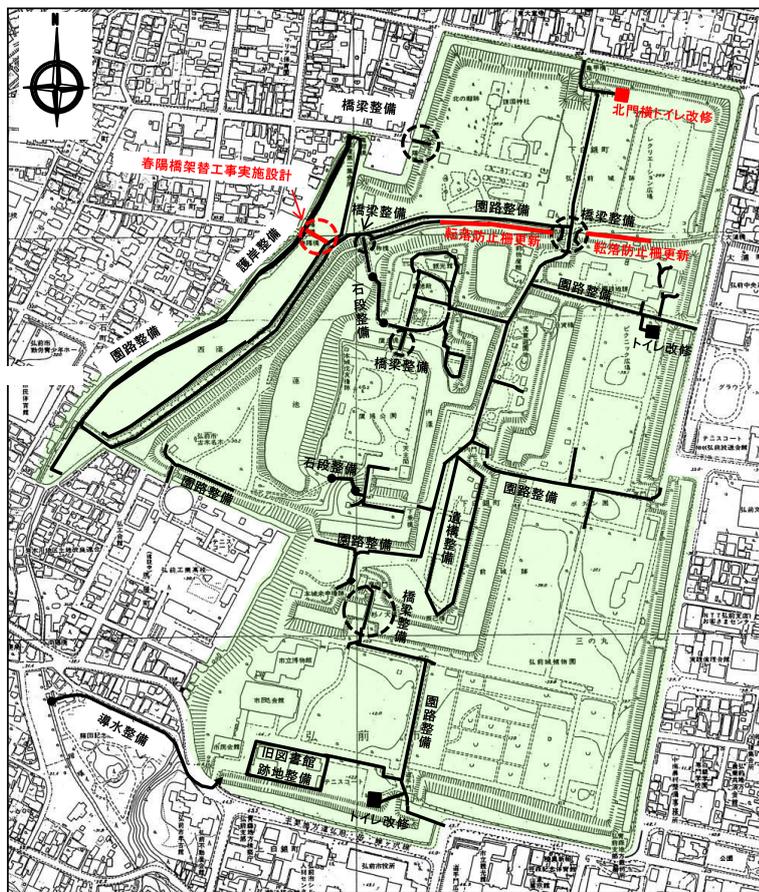
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
鷹揚公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和8年度		
支援事業名	防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)		
計画に記載している内容	当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、トイレの改修工事や木橋上部工架替工事のための実施設計、また、転落防止柵の更新工事を実施した。 ・北門横トイレ改修:N=1棟 ・実施設計:N=1橋(春陽橋) ・転落防止柵更新:L=239.5m			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



R2年度迄整備 :   
 R3年度整備 :

【北門横トイレ改修の状況写真】



【転落防止柵更新の完成写真】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
景観重要建造物保存・改修費助成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「翠明荘」(平成24年10月16日指定・第6号)について、正面門、塀、竹垣、土蔵外壁および軒の漆喰、屋根雪止めの老朽化が著しいため、修繕工事を行い、費用の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない 歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修繕を進める。

状況を示す写真や資料等

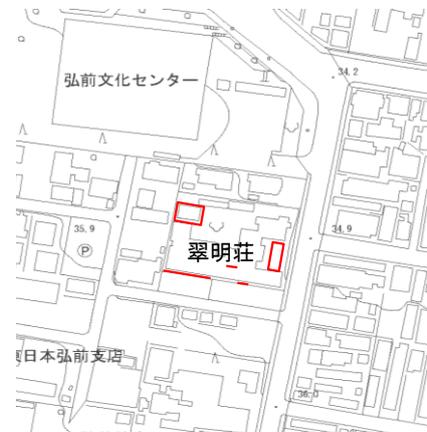
○景観重要建造物「翠明荘」の正面門、塀、竹垣、土蔵外壁および軒の漆喰、屋根雪止め

【事業位置図】



景観重要建造物「翠明荘」  
 指定年月日 平成24年10月16日  
 指定番号 第6号

【修繕箇所】



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
趣のある建物情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【旧第五十九銀行本店本館での設置状況】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。  
地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度弘前市伝統的建造物群保存地区内修理修景事業費補助金  
 ・修理事業費補助金(3件) 総事業費399,960円 補助金交付額230,000円(主屋修理・生垣修理)  
 ・修景事業費補助金(3件) 総事業費688,300円 補助金交付額408,000円(生垣修景・生垣新設・車庫修景)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

保存活用計画見直しにより、地区として保存していくべきものの範囲が拡大したことから、所有者の経費負担の支援について、引き続き検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

・修理事業【主屋修理】



・修理事業【サワラ修理】



・修理事業【サワラ修理】

施工前



施工後



・修景事業【サワラ修景】

施工前



施工後



・修景事業【サワラ新設】

施工前



施工後



・修景事業【車庫修景】

施工前



施工後



評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和5年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、景観重要建造物である三上ビルがあり、さらにねぷた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

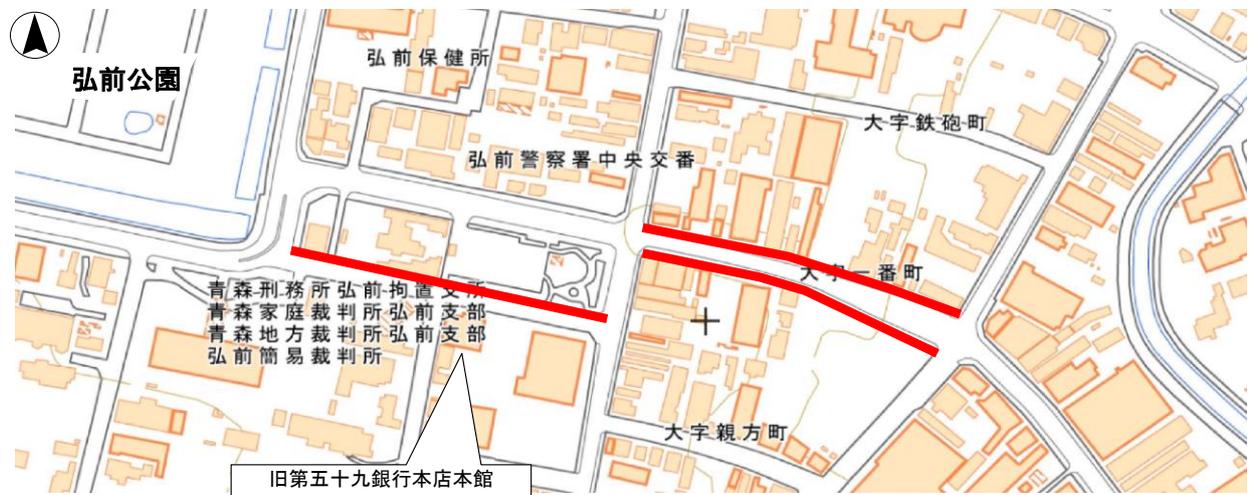
弘前市民中央広場に隣接する区間については、今年度、電線地中化と歩道へのロードヒーティングの設置を進めており、ロードヒーティングについては年度末に設置完了いたしました。これにより、快適な歩行空間の創出と良好な景観形成が図られるものと認識しております。今後は一番町工区の電線地中化について沿線住民の協力を得ながら、参画事業者と調整を図り、工事着手に向けた取り組みを進めて参ります。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
 今年度、一番町工区の整備について課題整理を実施しており、来年度の設計に向けた地元住民や電線地中化の参画事業者等に対し速やかな協議・調整を図ることとしている。

状況を示す写真や資料等

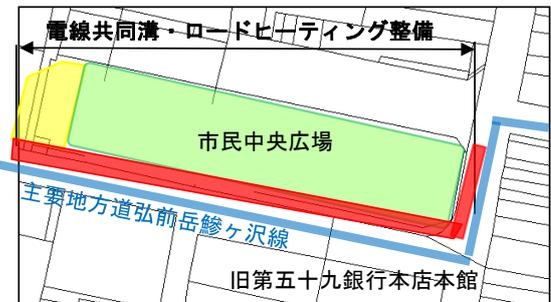
【事業位置図】



【事業箇所】ロードヒーティング整備完了後



【事業箇所】



- …主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業
- …市民中央広場整備事業(整備済み)
- …市民中央広場整備事業(拡張予定)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、ミニチュア建造物の修理を弘前工業高等学校のご協力のもと行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

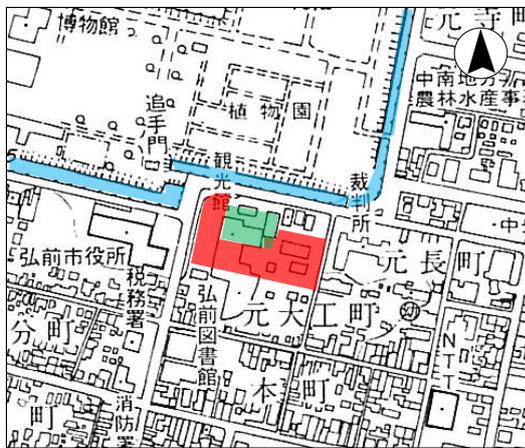
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

来年度も引き続き事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

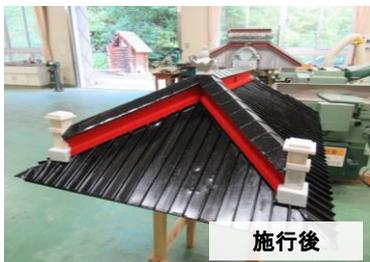
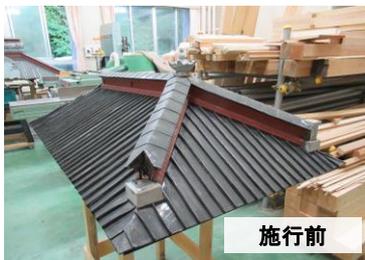
【事業位置図】



【ミニチュア建造物老朽及び現地作業状況】



【屋根部材の塗装の塗り直し】



【腐食した装飾の作り直し】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上の施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。  
この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り (年2回)

観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。

- ・1回目：6月1日～7日実施
- ・2回目：8月19日～24日実施

②サワラ生垣の刈込 (年1回)

時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。

- ・9月10日～15日実施

③施肥

- ・10月14日実施

・施肥実施対象木：62本中17本(百沢街道)、15本中5本(高岡街道) 計22/77本

・使用する化成肥料：18g/本(N:P:K=17:10:10)

マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整)

総打ち込み本数：282本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺の環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り

【施行前(1回目)】



百沢街道：令和3年6月1日

【施行後(1回目)】



百沢街道：令和3年6月7日

【施行前(2回目)】



百沢街道：令和3年8月19日



百沢街道：令和3年8月24日

②サワラ生垣刈込

【施行前】



百沢街道：令和3年9月10日

【施行後】



百沢街道：令和3年9月15日

③施肥

【施工のようす】



百沢街道

【施工のようす】



高岡街道

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和3年度実施状況】

研修生:7名(令和4年1月現在)

研修期間:5期生2名⇒平成30年9月～令和4年3月

6期生2名⇒令和2年9月～令和6年3月

7期生3名⇒令和3年10月～令和7年3月

研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。

研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで

※これまで12名が研修を修了し、うち6名が津軽塗職人として活動中。

令和3年度の成果発表会は3月頃に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止とした。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

研修風景



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。

<津軽塗技術保存会 令和3年度活動状況>

- (1)後継者育成:塗研修生2名、木地研修生1名 フォローアップ研修生 塗1名、木地1名
- (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。  
令和4年3月10日に会員による好評会を開催。
- (3)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示  
令和4年3月11日～13日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)※中止

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

後継者育成における、講師の確保などの体制構築が急務である。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修(塗研修)の様子】



【後継者育成研修(木地研修)の様子】



【再現作品制作の様子】



【再現作品好評会の様子】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
弘前市民俗文化財用具修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和58年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定無形民俗文化財大沢獅子舞及び市指定無形民俗文化財松森町津軽獅子舞の活動に必要な衣装(半纏)の購入費の一部を補助。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。
--	------------------------------

状況を示す写真や資料等

【半纏(大沢獅子舞保存会)】



【半纏(松森町津軽獅子舞保存会)】



評価軸③-12  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行ってのイベント開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑みてイベント開催を中止した。代替事業として、JR東日本弘前駅構内にお山参詣に関する装飾を行い、市民・観光客の歴史的風致に対する理解促進等を図った。なお、昨年同様9月に登山囃子の演奏を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で青森県内の公共施設の利用が制限されたため中止となった。

お山参詣に関する装飾:8月10日～9月13日 登山囃子の演奏披露:9月5日～7日(中止)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見つづけるが、歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、来年度も事業を実施したい。

状況を示す写真や資料等



JR東日本弘前駅構内におけるお山参詣に関する装飾実施状況

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和3年度 現在の状況
文化財の保存、文化財の修理・整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 弘前に残る歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
○文化財の保存 ①重要文化財(建造物)の指定:1件、市有形文化財の指定:2件(建造物1件・絵画1件) ②民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(2団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。	
○文化財の修理・整備 ①弘前城跡整備 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲) ・弘前城本丸石垣整備事業(H19～R6年度) 令和3年度は、北側石垣の積み直し工事を進めた。	
②誓願寺山門保存修理事業 事業期間:R2～R4年度 令和2年度は屋根の葺き替え工事、彩色塗直し工事を実施した。	
③弘前城二の丸南門・三の丸追手門保存修理事業 事業期間:R3～R4年度 令和3年度は、耐震診断を実施し、覆い屋を設置の上で屋根解体等を進めた。	
④天満宮のシダレザクラ環境整備事業 事業期間:R3年度 踏圧による樹勢への影響を防ぐため、老朽化した保護柵と支柱の整備等を実施した。	
⑤乳井神社の五輪塔覆屋設置事業 事業期間:R3年度 劣化の進む乳井神社五輪塔を保護するための覆い屋を設置した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。
状況を示す写真や資料等	
文化財の修理・整備 ①弘前城跡整備	
	
	
積み直しのための標準勾配の設定	本丸東側石垣の北側積み直し工事 令和3年度第2回弘前城本丸石垣修理委員会の様子

②誓願寺山門保存修理事業



屋根葺替工事(こけら葺き)



塗装工事(胡粉中塗)



屋根葺替工事(完成)



塗装工事(完成)

③弘前城二の丸南門・三の丸追手門保存修理事業



追手門仮設工事



二の丸南門仮設工事



工事現場一般公開

④天満宮のシダレザクラ環境整備事業



施工前



施工後

老朽化した保護柵の更新工事を実施した。  
竣工:令和3年8月16日

⑤乳井神社の五輪塔覆屋設置事業



施工前



施工後

市指定有形文化財乳井神社の五輪塔を保護するため覆屋を設置した。竣工:令和3年9月9日

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

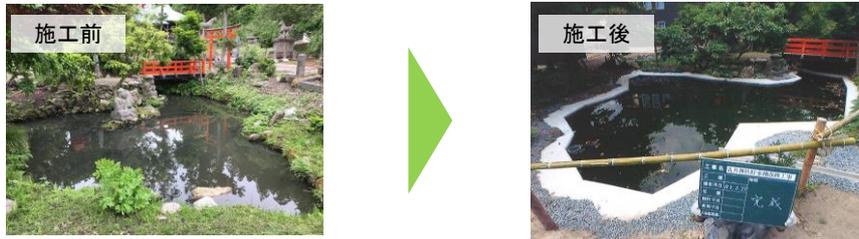
- 文化財の防災・防犯
- ①乳井神社社殿防災設備設置事業  
 事業期間: 令和3年度  
 乳井神社社殿の適正な管理のため、防災設備を設置した。
- ②仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業  
 事業期間: 令和3~4年度  
 昭和55年度策定の防災計画見直しのため、令和3年度から調査を開始。
- ③文化財防火デーに合わせて、旧第五十九銀行本店本館にて火災防御訓練を実施。  
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ハード整備とともに、ソフト面での体制づくりを進める必要がある。個別文化財の防災計画について、所有者との連携で作成を目指す。
--	---

状況を示す写真や資料等

①乳井神社社殿防災設備設置事業



市指定有形文化財乳井神社社殿の消火栓設備のため、境内の池を貯水槽に改修。竣工: 令和3年8月6日

②仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業



住民説明会  
令和3年8月9日



耐震対策調査説明会  
令和3年7月10日



耐震対策調査講習会  
令和3年12月4日

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存・活用の普及と啓発

①「ちびっこ縄文講座」開催

市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。

6月11日、7月14日、10月15日、10月24日に実施。参加人数:延べ104人

②「世界遺産委員会パブリックビューイング」開催

7月27日に実施。参加人数:17人

③「世界遺産登録記念セレモニー」開催

7月29日に実施。参加人数:150人

④「まちなかクラフト村」開催

市内の工芸品の展示・販売を実施。

4月9日～12月26日 計8回実施。参加人数:延べ5,556人

⑤その他学習支援及び一般説明等

小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。

実施回数46回 参加人数:744人

状況を示す写真や資料等

①「ちびっこ縄文講座」



令和3年6月11日～10月21日  
参加人数:延べ104人

②「世界遺産委員会パブリックビューイング」



令和3年7月27日  
参加人数:17人

③「世界遺産登録記念セレモニー」



令和3年7月29日  
参加人数:150人

④「まちなかクラフト村」



令和3年4月9日～12月26日  
参加人数:延べ5,556人

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。

④その他学習支援等



令和3年5月25日ほか 参加人数:延べ744人



令和3年9月4日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となった、重要文化財誓願寺山門保存修理工事現場公開において体験していただく予定だった、伝統的な技術を市のホームページで公開。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/oshirase/jouhou/2021-1006-1145-74.html>



評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和3年11月6日・7日に弘前公園で開催した「弘前城菊と紅葉まつり」において、趣のある建物・風景、前川建築等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを開催したことにより、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や景観資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

前川建築の魅力発信ツールとして配布したカードが好評であったため、今後も将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前城菊と紅葉まつり) 令和3年11月6日・7日】



来場者に配布した「前川建築カード」  
(うち市庁舎カード)  
景観ブースでは、約430枚を配布



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度

令和3年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 書面開催(令和4年2月22日)

(コメントの概要)

■ 議事の内容

- ・計画の進捗評価について
- ・計画の軽微な変更について

■ 計画の進捗評価についてのコメント

- ・特になし

■ 計画の軽微な変更についてのコメント

- ・歴史的風致のエリアを示す地図等について、縮尺を工夫して前川建築である「木村産業研究所」を入れてはどうか。

(今後の対応方針)

計画書に載せている歴史的風致のエリア図に関しては、歴史的風致のエリアを詳細に記載するための縮尺としているため、変更は行わない。引き続き、歴史景観資源の啓発、歴史的風致の維持向上等に係る事業を行っていく。